

西東京フィルハーモニーオーケストラ

第34回定期演奏会

指揮 和田一樹

(ブカレスト国際指揮者コンクール 準優勝)

ベートーヴェン 劇音楽「エグモント」序曲
ストラヴィンスキー 妖精の口づけ(ティヴェルティメント)
チャイコフスキー 交響曲第4番 へ短調

Venice, Italy

2023年7月16日(日) 14:00開演(13:30開場)

タクトホームこもれびGRAFAREホール メインホール

全席自由席 1,000円

チケット取り扱い

保谷こもれびホール 窓口 042-421-1919

宮地楽器

- ・アスタ田無センター 042-468-0055
- ・保谷センター 042-421-4411
- ・小金井店ショールーム 042-385-5585
- ・ららぽーと立川立飛店 042-540-6636

未就学児の入場は無料です。

車椅子席の用意があります。下記までお申し出ください。

お問い合わせ

☎ 080-1164-5253 (西田)

✉ ntp-koho@nishitokyo-phil.com

🌐 <https://nishitokyo-phil.com/>

📘 <https://www.facebook.com/NishitokyoPhil/>



交通案内

西東京市保谷庁舎となり(西東京市中町1-5-1)

はなバス & 西武バス & 関東バス「保谷庁舎」下車



◇主催 西東京フィルハーモニーオーケストラ ◇共催 タクトホームこもれびGRAFAREホール

◇後援 西東京市・西東京市教育委員会・エフエム西東京・西東京市文化芸術振興会・宮地楽器・三幸タクシー

25th ANNIVERSARY
タクトホームこもれびGRAFAREホール

西東京フィルハーモニーオーケストラ 第34回定期演奏会 [出演者プロフィール]

指揮 和田 一樹 わだ かずき



2015年ルーマニアで開催された第6回ブカレスト国際指揮者コンクールにて準優勝を果たし、2017年にはヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮しヨーロッパデビュー。「最年少最優秀客演指揮者」の称号を楽団の総監督より受け、毎シーズンの客演を続けている。京王電鉄・京王ライナーオリジナルBGM「KO5000」を作曲し、京王音楽祭にて、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で初演された。これまでに、都響、東フィル、日本フィル、神奈川フィル、東京佼成ウインドオーケストラ、群響、セントラル愛知響を指揮。西東京フィルとは2013年7月の第17回定期演奏会以来、12回目の共演となる。

管弦楽 西東京フィルハーモニーオーケストラ



第33回定期演奏会 (指揮: 西口 彰浩) 2023年1月8日 保谷こもれびホール メインホール

© Jun-ichi Yoshida

西東京フィルハーモニーオーケストラは、管弦楽合奏を通じて「音楽に親しむこと」「地域の音楽文化に貢献すること」を目的として1998年6月、保谷こもれびホール開館を機に発足し、今年25周年を迎えました。毎年2回の公開コンサートのほか、市の催事での演奏、小学校や各種施設へのボランティア・コンサートなど、幅広い音楽による文化活動を行っております。団員は約50名。新型コロナウイルス感染症もようやく収まりつつあり、不要不急といわれた文化活動も、ようやくあまり制限なく活動できるようになりました。

今回のコンサートは、おなじみの若手実力ナンバーワンの指揮者和田一樹先生をお招きし、ドイツ、ロシアの魅力的なプログラムをお届けします。まずベートーヴェンがゲーテの戯曲のために作曲した付随音楽で有名な「エグモント」序曲。2曲目は、ストラヴィンスキーがアンデルセンの童話「雪の妖精」の台本をもとに作曲したバレエ音楽「妖精の口づけ（ディヴェルティメント）」。

。舞踏家に「チャイコフスキーの音楽にインスピレーションを得たバレエ音楽」を、と依頼提案され作曲したものです。めったに演奏されませんがとても楽しい曲です。

メインはチャイコフスキーの交響曲第4番です。ヴェネツィアで作曲され、パトロンのメック夫人に捧げられました。和田先生の情熱が迸る指揮に、わたしたちも熱い演奏をお聴かせします。

コロナウィルスは、まだ完全に終息したわけではありませんので、お客さまにも多少のご不便をおかけすると思いますが、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

コンサートが開催できるという幸せを、お聴きいただくみなさまと共有できるコンサートにしたいと思っております。